

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位	3 単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	1 年	8・9 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)				
使用副教材	LANDMARK Fit English Communication I サブノート、ワークブック (啓林館) 新ユメタンO (アルク)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用したり、様々な話題に

ついて英語で情報や考えなどの要点などを理解・伝え合ったりしたり、背景にある文化について理解を深め、情報を取捨選択し、適切に配慮しながら主体的・自律的にコミュニケーションを図ることに資する態度を身に付ける。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

日常的・社会的な話題について、上記に示した五つの領域別、または複数の領域にまたがった活動や実際のコミュニケーションを通じて、情報や考えを理由や根拠と共にくみ取ったり、自分の意見を発信したりする。この際、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための時間が多くとられたりする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

各パートや単語帳を、文章や単語の日本語訳を見ながら音読できるように様々な方法で繰り返し読む。また、各文の構成が解説されたプリントを読み、分からない場合や複雑な場合は教員の補足を聞き、メモをす

(2) 家庭

- ・サブノートを使用し、予習を行う。また、解説プリントを読み、自分の言葉でもう一度まとめ直す。
- ・教科書や単語帳に記載されているQRコードを読み取り、ネイティブによる音声を聞きながら音読をする。文章の場合は、発音やスピードにも気をつける。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

- ・各定期考査の点数
- ・月曜日の単語テスト
- ・サブノートをはじめとした提出物の提出状況
- ・各パートごとに行われる小テスト
- ・音読へ取り組む姿勢

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

- A 文章を読んで、適切に内容をくみ取ることができた。
- B 文章を読んで、大まかではあるが内容をくみ取ることができた。
- C 文章を読んで、内容をくみ取ることがあまりできなかった。

(2) 思考・判断・表現








- A 内容に対する自分の考えを適切に表現することができた。
- B 内容に対する自分の考えをおおむね表現することができた。
- C 内容に対する自分の考えをあまり表現できなかった。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- A 音読練習や提出物へ積極的に取り組むことができた。
- B 音読練習や提出物に対し、受動的にはあるが取り組むことができた。
- C 音読練習や提出物への取り組みがあまり見られなかった。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×	
1	4	Lesson 1 Enjoy Your Jouney!	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、自分が高校生活やその先にやりたいことを明文化し、発表する。 不定詞の名詞用法と副詞用法、動名詞を理解し、活用する。 	○	○	○		
	5	 第1回考査		○	○	○		
	6	Lesson 2 Curry Travels around the World		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、カレーが日本まで辿り着く経緯や、日本で発達した独自の料理を知り、自分たちでオリジナルのレシピを考える。 受動態と現在完了形を理解し、活用する。 	○	○	○	
	7	Lesson 3 School Uniforms		<ul style="list-style-type: none"> 各国の制服事情に関する文章を読んで、自分たちは制服を支持するか否かを考え、発表する。 比較級、分詞修飾、関係代名詞thatを理解し、活用する。 	○	○	○	
	8	第2回考査		○	○			
	9	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima		<ul style="list-style-type: none"> 屋久島の紹介文を読んで、日本の世界遺産を調べ、行きたい場所を発表する。 関係代名詞what、関係副詞why・where・whenを理解し、活用する。 	○	○	○	
	10	Lesson 5 Bailey the Facility Dog		<ul style="list-style-type: none"> ファシリティドッグについての文章を読み、病院におけるその活用についての自分の意見を発表する。 原形不定詞やifを用いた間接疑問文を理解し、活用する。 	○	○	○	
	11	第3回考査		○	○			
	12	Lesson 6 Communication without Words		<ul style="list-style-type: none"> 言語を介さないコミュニケーション手法についての文章を読み、自分のしぐさが相手に不快な思いをさせていないかについて考え、よりよいコミュニケーションについて考え、発表する。 形式目的語や間接疑問文を理解し、活用する。 	○	○	○	
	13	道徳		○	○			

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
2	11	Lesson 7 Dear World: Bana's War	<ul style="list-style-type: none"> ・シリアの少女がインターネットを介して世界に投げかけた平和への訴えに関する文章を読んで、平和に対する考えを发表する。 ・分詞構文と関係詞の非限定用法を理解し、活用する。 	○	○	○	
		  <p>第4回考査</p>					
3	1	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	<ul style="list-style-type: none"> ・社会起業家についての文章を読み、自分の将来就きたい仕事に就いて发表する。 ・過去完了と仮定法過去について理解し、活用する。 	○	○	○	
		 					
		Optional Lesson 1 Space Elevator					
  <p>第5回考査</p>							
Optional Lesson 2 Friendship over Time	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とトルコの時代を超えた友好関係についての文章を読み、友好関係の重要性について发表する。 	○	○	○			
							

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



※評価の観点

- 知 → 知識・技能
- 思 → 思考・判断・表現
- 主 → 主体的に学習に
取り組む態度

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

